



Public Library of Cincinnati and Hamilton County

米国最大規模の図書館をサポートする仮想化ソリューション

アプリケーション

イントラネット/インターネット アプリケーション、SQL データベース、Exchange ユーザ、および図書館の予約システム等のストレージインフラストラクチャとして利用。仮想化データセンターのプライマリストレージならびにリモートサイトのディザスタ・リカバリ用ストレージ。

課題

米国内で最も利用者の多い公立図書館をサポートする技術チームは、限られたリソースで大きな仕事に臨んでいます。Public Library of Cincinnati and Hamilton Countyは、仮想化環境を構築するとき、データ フラグメンテーションおよびボリューム管理の問題を軽減するストレージ ソリューションを必要としていました。また、拡張が可能で、ストレージをコスト効率良く追加できるストレージソリューションも必要としていました。

Isilon IQ のメリット

アイシロンは、年間予算の予測が難しい期間にとって重要な要件である高利用率、および迅速かつオンラインでの拡張を実現しました。アイシロン プラットフォームで提供されるシンプルさと低い運営コストにより、スタッフの時間を図書館の任務およびコミュニティ サービスのサポートに集中できるようになりました。

- 1日のストレージ管理を約20分に抑えることができ、さらにその管理も、パフォーマンスの監視のみ
- アイシロンが提供する機能と、それにより実現される低コスト化
- ノードを増やしても、運営コストの増加がゼロ
- パフォーマンスを低下させることなく、オンラインで容量を追加することが可能
- 高いストレージ利用効率

「可能なすべてのこと」を仮想化するため、Public Library of Cincinnati and Hamilton Countyには、間違った選択は許されませんでした。また、仮想化環境を最大限利用するために、「最適なストレージが必要」であることも分かっていました。

シンシナティ市内にある、Public Library of Cincinnati and Hamilton County (PLCH) は、米国内で最も利用者の多い公立図書館で、その訪問者および貸出数は、ニューヨークやロサンゼルス、シカゴ、シアトルといった中央図書館を超えています。最近の経済問題は、PLCHに大きな影響を与え、利用者および無料のコンピュータリソースの使用が増加する一方、PLCHは、2000年以降28%超、\$1,000万の予算が削減されました。

PLCHは、技術投資を最大限活用し、限られた資源でさらに多くのことを行うために、仮想化環境を構築しました。限られた予算と資源の中で、この公立図書館は、すぐに効果のあるソリューションを見つけなければなりません。アイシロン ストレージ ソリューションに基づいた仮想化は、その成功において不可欠なものとなっています。

技術サービス ディレクターであるJason Buydos氏が率いる優秀なチームは、本館と40の分館から成る図書館全体のシステムにおいて、ITからネットワークや電話に至る、すべての技術サービスを管理しています。イントラネット/インターネット アプリケーション、SQL データベース、1,000人のExchange ユーザ、および図書館の予約システムの日常的な管理は、このチームが請け負っています。限られた予算とスタッフという厳しい現実があるにもかかわらず、Buydosは、技術を駆使したコミュニティへのサービス提供に努め、最近では、レコードや写真など地域史料へのアクセスをさらに拡大するデジタル化を成功させました。

『 仮想化環境を確立するため、VMWare ESXソリューションを導入 』

技術インフラストラクチャをさらに活用し、仮想化環境を確立するため、PLCHは、VMWare ESXソリューションを導入しました。しかし、PLCHは、データ フラグメンテーションおよびボリューム管理が従来のストレージ ソリューションで問題になると分かっていました。また、拡張が可能で、ストレージをさらにコスト効率良く追加できるストレージソリューションも必要としていました。そこで、PLCHは、いくつかのストレージ ベンダを調査し、「可能なすべてのこと」を仮想化することを目的として、アイシロンを採用しました。PLCHの技術サービス ディレクターである Jason Buydos氏は次のように述べています。「アイシロンが提供する機能と、それにより実現される低コスト化により、わたしたちは、必要なストレージソリューションを手に入れることができました。」

非営利機関にとって、アイシロンの技術ソリューションのコストおよび管理のしやすさは、成功するための重要な要因でした。PLCHのテクノロジーアーキテクトである、Ranjan Prasad氏は、図書館システムの技術プロジェクトを管理し、ストレージシステムの管理に使える時間も限られていることから、アイシロンのソリューションを高く評価しています。

「アイシロンのシステムを採用したことで、必要なサポートを最小限に抑えることができます。わたしたちは、1日のストレージ管理を約20分に抑えることができ、さらにその管理も、パフォーマンスを監視しているだけです。」とPrasad氏は述べています。

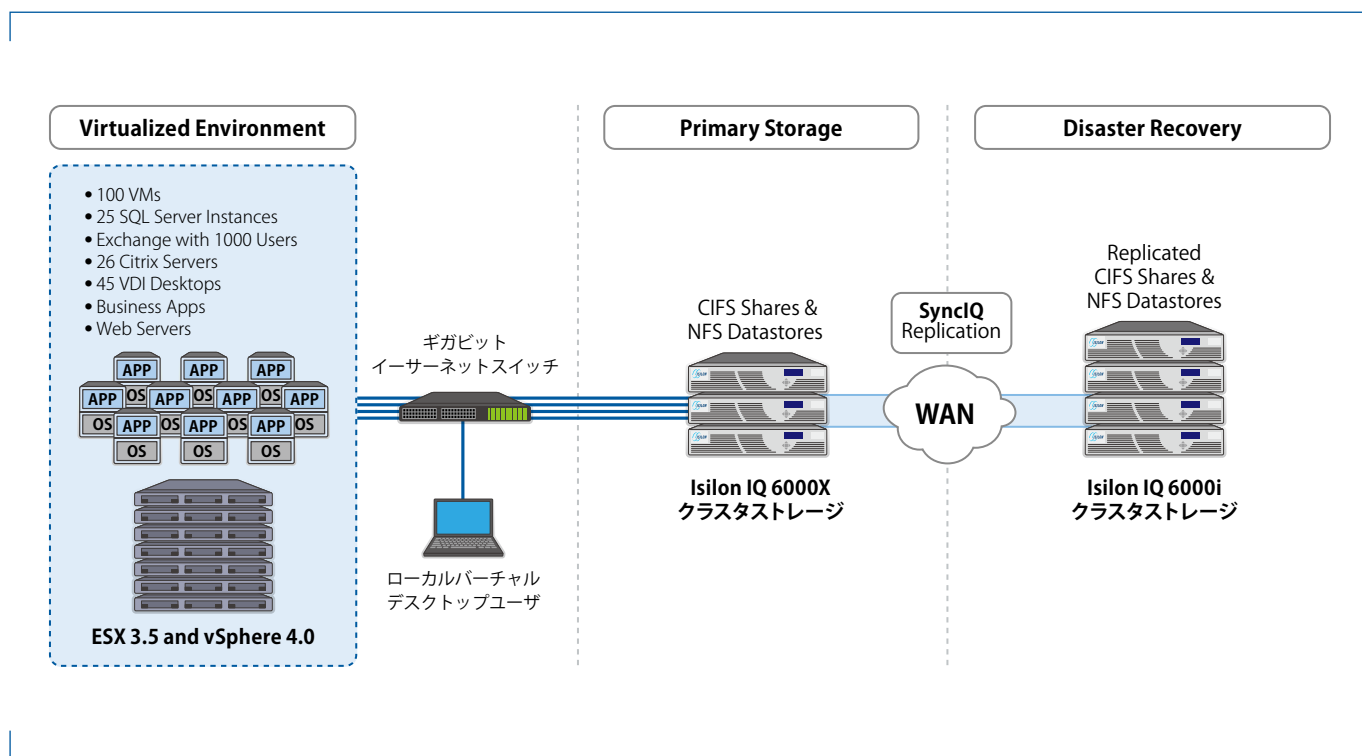
『 アイシロン スケールアウトNASにより、 タイムリーな増設とコスト削減を実現 』

年間予算が予測できないため、PLCHでは、将来の技術ニーズに則した計画的な投資は難しいのが現状です。高い使用率、およびオンラインでの拡張が可能であることも、PLCHがアイシロンを採用した1つの理由です。「アイシロンのソリューションは、ストレージがさらに必要になったときにスケールアウトすることができ、必要なストレージを最小限に抑えることができました。また、ノードを増やしても、運営コストが増えないことも評価しています。」とPrasad氏は述べています。

PLCHは、仮想化環境に対する明確なビジョンの下で、短期・長期、両方に効果的なストレージシステムを決定することができました。PLCHは、稼働率の低い仮想マシンからアイシロンの採用を始めました。その後、パフォーマンスや容量には問題がなかったので、ExchangeおよびSQLインフラストラクチャを仮想化することにしました。現在、そのすべての仮想マシンは、アイシロンクラスタで稼働しています。また、PLCHは、パフォーマンスを低下させることなく、アイシロンの容量を拡張しています。今後は、内部クラウドを確立し、アイシロンのストレージプラットフォームを利用していきます。

「アイシロンが提供する機能と、それにより実現される低コストにより、わたしたちは、必要なストレージソリューションを手に入れることができました。」

— Public Library of Cincinnati and Hamilton County, 技術サービス ディレクター
Jason Buydos氏



開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443
Email : contact-jp@isilon.com www.isilon.co.jp